

氏名	神原 太樹
授与した学位	博士
専攻分野の名称	医学
学位授与番号	博甲第5654号
学位授与の日付	平成30年3月23日
学位授与の要件	医歯薬学総合研究科 病態制御科学専攻 (学位規則第4条第1項該当)
学位論文題目	Renal Function after Nephrectomy Influences the Risk of Cardiovascular Events (腎摘後の腎機能が術後の心血管系イベントのリスクに影響する)
論文審査委員	教授 和田 淳 教授 伊藤 浩 教授 岩崎達雄

### 学位論文内容の要旨

腎癌に対する腎摘除術は部分切除術に比べ、新たな慢性腎臓病を惹起しうるリスク因子であるともいわれているが、術後の腎機能を保つことが、その後の心血管系イベントにおけるリスクを下げるかどうかは一定の見解はない。今回我々は、限局性腎癌に対する手術（腎摘または部分切除）を施行された患者の術後における心血管系イベントに影響を与える因子について検討した。対象は、1998年から2009年までの間に、限局性腎癌に対する手術を施行された570名。主要評価項目は、術後新たに生じた心血管系イベントの発生率、副次評価項目として全生存率、とした。心血管系イベントにおいて、術後の腎機能のみが単変量、多変量で有意な因子として認められた。腎癌の手術においては、確実な癌のコントロールのもと、より腎機能を保てる方法を考えていくことが重要であると考えられた。

### 論文審査結果の要旨

慢性腎臓病が心血管イベントのリスクを増大させる重要な因子であることが知られている。腎癌に対する腎摘出術は部分切除術と比較して慢性腎臓病を惹起しうるリスク因子であるとの研究もある。術後の腎機能を保つことがその後の心血管イベントリスクを下げるかどうかは一定の見解はない。

本研究では、腎摘出術あるいは部分切除術を受けた腎癌患者の術前・術後の腎機能が心血管イベントに与える影響を検討している。後ろ向き臨床研究で570名を対象としている。主要評価項目は新たに生じた心血管イベントの発生率であり、術後の腎機能のみが単変量・多変量解析で有意な因子として抽出された。

委員からは重要度の低いエンドポイントが心血管イベントの定義に含まれていることに対して懸念が提示された。また心血管イベントの内容についても質問があった。本研究者は心血管イベントの内容について具体例を上げて回答した。

本研究は腎癌術後の腎機能を保つことが、その後の心血管イベントを予防する観点から重要であることを示した。腎癌手術療法後の予後を予測するうえで、重要な知見を得たものであり価値ある業績として認める。

よって、本研究者は博士（医学）の学位を得る資格があると認める。